

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-1
危機管理体制の充実・強化

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 薬事衛生課 田原 研司 電話番号 0852-22-5257

事務事業の名称	感染症の医療体制整備事業	
目的	(1) 対象	感染症法に基づく入院治療が必要な、一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ及び指定感染症の患者、並びに新感染症の所見がある者
	(2) 意図	適切な治療をし、感染症のまん延を防止する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 重篤な感染症患者を入院治療させるため、第一種及び第二種感染症指定医療機関について整備し、適切な医療を提供し感染症のまん延を防止するため、医療機関に対し、施設設備整備の補助等を行う。 新型インフルエンザの発生に備えた体制の整備、維持 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 第一・二種感染症指定医療機関確保率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義 第一・二種感染症指定医療機関数/県内に必要な第一・二種感染症指定医療機関数×100	取組目標値						
		実績値	100.0	100.0	100.0			
		達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	73,391	283,266
うち一般財源(千円)	63,901	275,537

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基いた現状)

医療機関に対し空床補償費等を補助し、感染症病床を適正に確保・運営している。
 ・第一種感染症指定医療機関 1箇所 2床(陰圧100%)
 ・第二種感染症指定医療機関 7箇所 28床(陰圧100%)
 新型インフルエンザが発生した場合の入院病床の確保 279床(平成28年度283床)県全体のベット数が減少してきており年々漸減してきている。
 帰国者接触者外来 22医療機関
 抗インフルエンザ薬の確保 121,330人分(備蓄目標 102,600人分)平成29年、国の備蓄目標が見直し(減少)されたため、過剰備蓄。
 県内2保健所、松江市立病院及び大田市立病院に4台の患者移送車(救急車)配備、個人防護服 約1万着分備蓄

6. 成果があったこと(改善されたこと)

感染症指定医療機関
 ・第二種(28床)の内、雲南市立病院(新設)に4床を設置(更新)
 新型インフルエンザが発生した場合に備え、抗インフルエンザ薬、備蓄品の更新
 ・抗インフルエンザ薬購入 16,200人分
 期限切れ薬の廃棄 30,280人分
 ・防護服、納体袋、迅速診断キットの購入
 使用不可の備蓄品の廃棄

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 入院治療が必要な有症者を移送する救急車(平成11年度購入)の更新。
 - 抗インフルエンザ薬の変更に伴い、備蓄庫のスペースが足りなくなってきた。
 - 使用期限が切れている防護服等の廃棄対応が必要。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 県の救急車の更新計画が定まっていない。
 - 国の備蓄抗インフルエンザ薬が、タミフルから多種類の薬剤となってきたり、適切な管理できるスペースが必要となっている。
 - 防護服などの備蓄品については、新型インフルエンザが発生していないため備蓄したまま、経年劣化のため未使用のまま廃棄している。
- ③原因を解消するための「課題」
- 救急車の更新計画を定め、計画的に現在の車両を廃棄、新規購入していく。
 - 抗インフルエンザ薬が適正に管理できる(単独空調及び施錠できる部屋)の確保
 - 備蓄品が、有効に活用され廃棄されるサイクルを、農林部(鳥インフルエンザ対応)等や、感染症指定医療機関(無償提供の可否)との調整

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 救急車及びアイソレーター等の患者移送車両及び隔離装置の計画的に更新していく
- 感染症指定医療機関に対し、第一種及び第二種等感染症が発生した場合に備え、感染症病床の適正確保に向け継続した助成を行う
- 医師会や医療機関に対し、新型インフルエンザ発生時の協力を継続して依頼する
- 抗インフルエンザ薬が、適切に管理できる施設の確保(雲南保健所、県立保健所及び保健環境科学研究所:エアコン等設備、自記式温度計の設置など)
- 抗インフルエンザ薬や、防護服等を更新していくとともに、有効に活用されるよう関係部局や感染症指定医療機関と調整を図る